

TAB

*Tochigi Association Architects & Building Engineers
Member's Magazine*

#113

2020/01/01



CONTENTS

TAB#113 2020新年

一般社団法人栃木県建築士会

	1	目次
Solutation	2	新年あいさつ 栃木県知事 福田富一 栃木県建築士会長 青木格次
Report	6	第3回建築士会会員大会報告 建築士会烏山支部 山田高広
	15	建築士会全国大会北海道大会報告 建築士会鹿沼支部 山田征道
編集後記	19	

《表紙について》

山あげ祭り保存会の皆様による「一条戻り橋」のクライマックスシーンです。
建物の中での鑑賞でしたが、大迫力！
是非とも実際の山あげ祭りを見たくくなりました。

お詫びと訂正

前回TAB112号に訂正があります。

9P 大田原支部理事 江渕 → 五江渕 肇

12P 委員会業務概要の事業委員会が抜けていました。

業務概要 行政機関からの受託事業に関する対応
他団体等からの受託事業に関する対応

13P 研修委員長挨拶の4行目 2011年 → 2021年

大変申し訳ございません、今後ともよろしくお願いいたします。



令和 2（2020）年 新年知事あいさつ

栃木県知事 福 田 富一

一般社団法人栃木県建築士会会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

知事 4 期目の任期の仕上げの年となりました。私は、就任以来、現場主義を徹底するとともに、県民中心・市町村重視を基本として県政を進めて参りました。今後とも、県民や市町等の声に真摯に耳を傾け、県民にとって何が最善かを考え、前例にとらわれることなく、県政が抱える課題の解決にスピード感を持って取り組んで参ります。

さて、去年は令和元年台風第 19 号に伴う記録的な豪雨により、県内でも尊い人命が失われたほか、家屋や店舗、工場等の浸水をはじめ、河川・道路等の公共施設、農地や森林、農作物等に甚大な被害が発生しました。一日も早い被災者の生活の安定と被災地の復旧・復興のために、国や市町をはじめ関係機関と緊密に連携し、生活や生業の再建を全力で支援して参ります。

現在、本県が目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、来年度に計画期間の最終年度となる栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プ

ラン」の総仕上げを行うとともに、人口減少・高齢化、気候変動などに起因する諸課題に対応するため、中長期的な展望に立って次期プランの策定を進めております。

また、今年 3 月に策定する栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生 15 戦略」に続く次期戦略では、これまでの取組の成果等を踏まえて施策の改善・強化を図るとともに、新たな視点に基づく施策を推進して、人口減少問題の克服と地域の活力の維持に努めて参ります。

具体的には、本県の地理的優位性を生かし、とちぎの未来を担う若者の東京圏からの U・I・J ターンや、将来的な移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大に取り組むとともに、Society 5.0 の実現に向けて、あらゆる分野における未来技術の導入を促進し、企業等の生産性や県民生活の利便性の向上等を図るほか、防災・減災、国土強靱化の推進により安全・安心なとちぎづくりにもつながって参ります。

3 月には、本県において東京 2020 オリンピック聖火リレーが実施されます。また、夏に開催される東京 2020 オリンピック・パ

■知事挨拶

ラリンピック競技大会に向け、ハンガリー選手による事前トレーニングキャンプの実施が予定され、多くの外国人観光客が来日することが予想されることから、拡大するインバウンド需要を取り込むほか、その2年後に本県で開催する第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」につきましても、県民総参加で感動を共有できる大会となるよう、各種取組を着実に進めていきたいと考えております。さらに、本県の魅力・実力を、デジタル技術を活用して国内外に発信するなど、とちぎブランドの確立により一層努めて参ります。

県民の皆様が未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てるとちぎを創るため全身全霊で取り組んで参りますので、建築士会の皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が会員の皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

令和2（2020）年1月

■ 会長挨拶



令和 2 年 1 月 会長新年挨拶

(一社) 栃木県建築士会 会長 青 木 格 次

皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年 10 月 12 日の台風 19 号は全県に渡り甚大な被害を及ぼし、会員諸氏の中にも被害に遭われた方がおられます。新たな年を迎え一刻も早い復興を願っております。また栃木市を始め足利、佐野市…等での災害調査や住宅相談には多くの会員が積極的に参加して頂き、あらためて感謝いたしますと共に、建築士会の社会的役割が地域に大きく貢献できたのではないかと思います。

さて、今年は 7 月の東京オリンピック開催を控え、日本中がオリンピック色に染まる年になりそうですが、建築士会も本年は会員増強、会員研修、会員交流の 3 本の矢に、新たに社会貢献を加えた 4 本の矢で建築士会の存在意義を広く社会にアピールして行きたいと考えております。

その事を踏まえ昨年の総会で本部委員会を改編いたしました事は、前回の広報誌 TAB で紹介させて頂きましたが改めてその概略を紹介いたします。

- ① 会員委員会；会員増強を主目的に会員の親睦、交流、情報交換…等を担当します。
- ② 研修委員会；今までの技術委員会と研修委員会が合併し、会員の資質向上の為の研修会や法令講習会、勉強会、各種見学会開催…等を担当します
- ③ まちづくり委員会；HM（ヘリテージ マネージャー）を中心に、歴史的建造物の調査を中心とした＜歴史まちづくり＞を担当いたします
- ④ 事業委員会；昨年度から設置された新しい委員会で、県や市町村からの歴史建造物調査や街並み調査、耐震調査…等の企画、運営を担当します。社会に対して建築士会の活動を広く知って頂く為の外部とのパイプ役です。
- ⑤ 活動委員会；今までの青年委員部会と女性部会 から構成されています
この他に 特別委員会として次の二つの委員会があります
 - ・ キャリア部会；士会活動に参加して頂き ご指導、ご支援をお願いしたい先輩建築士の方々の委員会で、年齢

■ 会長挨拶

制限はありません。

- ・ 家づくりサポート部会；＜栃木県豊かな住まいづくり協議会＞の活動を建築士会としてサポートする委員会です。

これらの委員会を中心に今年度は更に社会貢献活動として次の2つを計画しております。

- 1；県内各市町との緊急災害協定の締結。
既に栃木市、壬生町の2市町とは締結済みですが今回の水害を教訓に、県の協力を受けながら更に多くの市、町と緊急時の災害協定を締結し、地域の方々に建築士の存在を認知して頂きたいと考えております。
- 2；第2回＜とちぎ木造塾＞の開催。昨年秋季に開校した＜とちぎ木造塾＞では建築士の他に、地域の木材業者や社会人、高校生…等、各方面から多くの方の参加を頂きました。本年度も木造塾を開校して非住宅系木造建築の普及拡大を計り、地域建築業界や地場産木材、建材の需要拡大に寄与する事を目指したいと思っております。

最後に多くの会員の皆様のご理解、ご協力を頂き、昨年度より会費値上げとなりました事につき、厚くお礼申し上げます。ところで会費値上げに見合うだけのメリットがあるのか？との質問をよく受けます。しかし＜もし建築士会が無かったら、建築士としての必要な情報はどうやって手に入れば良いでしょうか＞。建築士会は事業者団体ではありませんので、経済的メリットは少ないと思います。しかし法令改正や資格取得、各種講習会を始め、様々な情報の提供、まちづくり活動や人的交流…等 数多くの分野で活動を行っております。士会は建築士一人一人の共通地盤です。メリットとは、まず自分で情報を確認し動いてこそ得られるもの、と私は確信しております。どうか士会の存在意義をもう一度、確認してください。

そして＜入って良かった、入っていて良かった建築士会＞を実感していただきたいと思っております。最後に本年も皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、皆様の大きな飛躍を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

2020年1月

Special edition

特集 一般社団法人栃木県建築士会 第3回 会 員 大 会

「伝統と文化」を考える in 那須烏山市

第1回栃木市、第2回日光市に続き第3回会員大会は、建築士会烏山支部の協力により、那須烏山市にて、開催されました。

今年の会員大会は、「伝統と文化」を考えていただく大会として、那須烏山市にある烏山城（1417年築城の山城、明治期1869年に廃城、石垣、土塁などが現存）の見学やユネスコ

登録無形文化遺産に登録された山あげ祭りを紹介する山あげ会館の見学、山あげ祭り芸能部に今回の大会には男性42名、女性14名、計56名と多くの方々に、参加していただきました。参加していただいた県内各支部の皆様有り難うございました。そして、大会の準備、運営と大会を支えて下さいました烏山支部スタッフ、市民の皆様には大変お世話になりました。

日 時 : 令和元年11月9日(土) 9:15~15:30

場 所 : 那須烏山市 (兼懇親会)

9:15~9:30(開 会)

会長挨拶

・大会内容説明

9:30~10:1第1部 山あげ祭り芸能部による特別講演 演目「戻り橋」

山あげ会館見学

第2部 座学「烏山城」

講師：那須烏山市生涯学習課 鈴木芳英様

12:00~ 会員親睦を兼ねた昼食会

割烹 「松月」 八溝そば(手打ち)

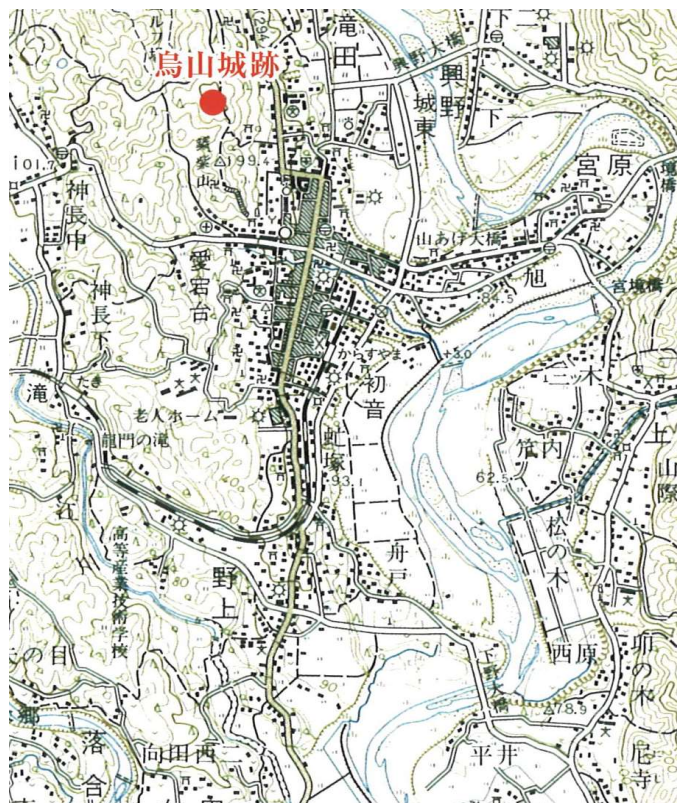
※各支部の方々と交流を深めることができました。

13:00~ 烏山街あるきと烏山城跡見学

座学の内容を踏まえて山城跡を歩いていただきました。

15:15~15:30 アンケート及びコメントシート回収、成果発表

15:30 開 会



「国土地理院発行の5万分の1地形図(鳥山)」



立地概要

鳥山城の東側は大きく蛇行を繰り返し南流する那珂川、西側は江川、南側は那珂川と江川、荒川の3河川が合流する氾濫原、北側は大小の谷が複雑に入りくむ丘陵地帯と那珂川の蛇行によって形成された狭地となっています。この様に周辺の地形をも巧みに利用した要害の地を選んで築城したものと考えられます。(那須烏山市 鳥山城パンフレットより)

9:15

「山あげ烏章館」で受付
「烏章館」は毎年当番町が実際に使用する山あげ祭りの山を製作する施設です。

鳥山支部と会員委員会スタッフの打ち合わせです。



9:30

～

10:15

山あげ祭り芸能部による特別講演

演目は「戻り橋」

芸能部の説明（山あげ保存会の大金さんに聞く）

この日のために舞台客席をセッティング



10:15

～

11:00

山あげ会館見学

世界文化遺産「山あげ祭り」の概要説明
那須烏山市を訪れた際には是非お立ち寄りください。



展示場では山あげ祭で実際に使用している大屋台を見る事が出来ます。年間を通して大屋台を見られるのはここだけ！写真撮影も出来ます。

◆屋台展示場

◆山あげ祭ミニチュア
実際の舞台と町並みを5分の1に縮尺した山あげ祭のミニチュア劇。名物ロボット「勘助じいさん」が脚本読みで面白おかしくお祭りを説明してくれます。（上映時間：約7、8分）

◆山あげ祭映像
大きなスクリーンで山あげ祭の準備～当日までのドキュメント映像を上映します。（上映時間：約20分）

◆観光物産コーナー
那須烏山市の特産・名産品を集め、販売しております。お立ち寄りの際はぜひご利用ください。烏田うどん、鮎甘露煮、烏山和紙等
※観光物産コーナーは入館無料でご利用いただけます。

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財 山あげ祭

那須烏山市最大のお祭り
「山あげ祭」を
ミニチュアや映像で
年中を通してご紹介しております。

山あげ祭資料
展示コーナーや
企画展なども
行っております。



山あげ祭

450年以上の歴史を誇る、灼熱豪華な野外劇。
観客の前に、道路上100mにも及ぶ舞台が設置されます。
烏山和紙を使った背景の「はりか山」（大山、中山、前山）や館、橋、波などが配置され、舞台の進行に伴い様々な変化します。
若衆達の糸乱れめ妙技と、踊り娘達の常磐津の三味線にあわせて美しい舞は、一見の価値あり！
毎年7月の第4土曜日を含む金、土、日に開催されます。



烏山和紙で作られた
はりか山。
手前から
前山…高さ約5m
中山…高さ約7m
大山…高さ約10m

（那須烏山市 山あげ会館パンフレットより）

11:00

～

11:45

烏山城座学

(那須烏山市学芸員鈴木氏)

「烏山城ってどんな城？」をテーマに、午後の現地見学に向けた講演をいただきました。講演では、烏山城が600年前に築城された伝承が残る山城で、明治の廃城までの長い間、様々な改修をされながらも継続して使用され、古くからまちのシンボルであったことが



また昨年の築城記念イベントでは、噺家の春風亭昇太師匠が登城し、1年経たずに結婚されたことから、訪れると結婚できる山城では？との話も聞けました。

12:00

～

13:00

昼食（懇親会）松月

昼食内容説明

会場の雰囲気説明

各支部会員の方々が八溝手打ちそばと鮎の天ぷらに舌鼓しながら懇親を深めました。



12:45

～

13:20

烏山城三の丸までプラタモリ風街歩き

(那須烏山市学芸員鈴木氏)

江戸中期（約300年前）頃の町絵図や大正末期（約100年前）頃の真景図と現在の街並みを見比べながら歩きました。現存する道や小字名、水路の痕跡などを手掛かりに、まちの移り変わりと色づいた紅葉を楽しみました。



烏山城見学

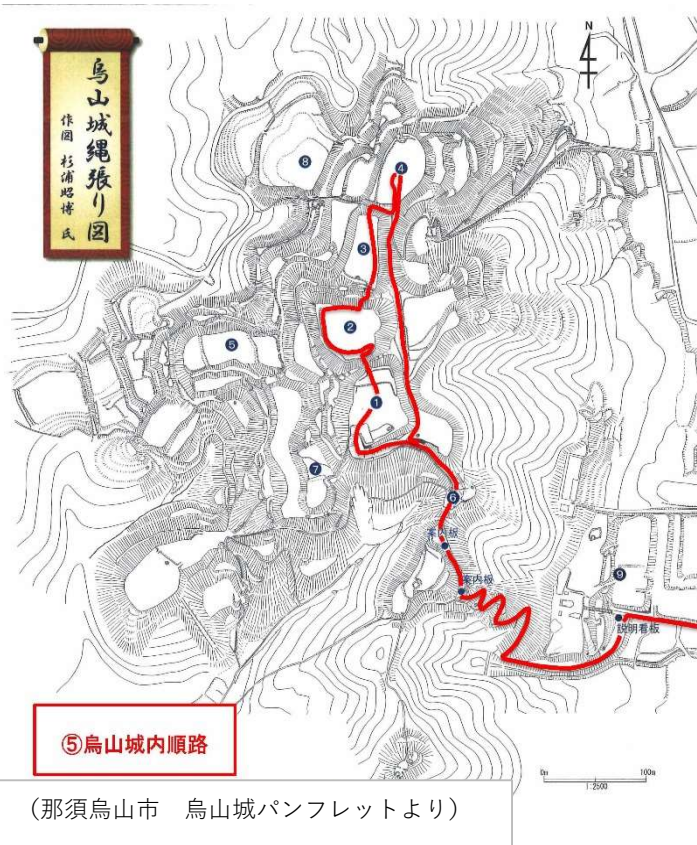
三の丸脇の七曲り口から本丸に向けて、攻め上げる気持ちで登城。さすが山城！入り口は道幅が狭くつづら折りで1列にならざるを得ない通路でしたが、脱落者もなく、会員の剣客が証明されました。発掘調査を担当する学芸員さんからも太鼓判！

烏山城の内容

東西に約350m、南北に約600mの範囲に五城三郭（①本丸、②古本丸、③中城、④北城、⑤西城、⑥常盤曲輪、⑦若狭曲輪、⑧大野曲輪）と呼ばれる曲輪群が存在しています。①本丸・②古本丸と市街地との比高は約100mであり、曲輪群の周囲には縦堀、横堀、堀切、土塁などが設けられ、本丸周辺には石垣を築くなど堅固な城砦を形成しています。

万治2年（1659）、時の城主であった堀親昌によって、城の東山麓に新たな居館（⑨三の丸）が築かれました。

（那須烏山市 烏山城パンフレットより）



寿亀山神社前（三の丸付近）



三の丸説明看板前



七曲り口



七曲り



車橋跡



(那須烏山市 鳥山城パンフレットより)



常盤曲輪



吹貫門前



正門付近

有名な吹貫門脇の石垣を見学し、本丸正門跡に到着。2回時計回りに曲がる内枅形を抜けるとやっと本丸の中。本丸ではただの石かと思ったら、城として使われていた時の礎石が並んでいました。本丸からは階段を下りながら北城へ。発掘調査中でしたが特別に許可を得て見学させていただきました。出土品や土の違いから時代を決めるそうです。



本丸

鳥山城の沿革

応永24年(1417)※、那須氏一族の沢村五郎資重によって築城されたといわれています。それ以後、天正18年(1590)に当主那須資晴が、小田原遅参を理由に豊臣秀吉によって改易されるまで、那須氏の居城となりました。



中城から北城へ(奥は北城)

戦国末～江戸中期においては、織田氏、成田氏、松平氏、堀氏、板倉氏、那須氏、永井氏、稲垣氏、と頻りに城主の交代が行われ、万暦2年（1659）、時の城主であった堀親昌によって、城の東山麓に新たな居館（三の丸）が築かれ、以後の藩政機能はこちらに移ることになりました。

享保10年（1725）になると、譜代大名の大久保常春が江州（現：滋賀県）より移封され、その後八代、約140年にわたって大久保氏が城主となり、城は明治を迎え廃城となりました。

※応永25年（1418）の説もあり、これは応永24年2月築城開始、翌年25年正月に完成、入城という古記録の記載によるものです。築城の由来の関しては、これらの説を含め諸説ありますが、考古学的にはまだ詳細不明であり、正確な築城時期は不明です。

（那須烏山市 烏山城パンフレットより）



北城（発掘現場）



北城土塁の上を通過（発掘現場付近）

15 : 30

閉会式

お疲れ様でした。

講演いただいた保存会の皆様

講義いただいた、学芸員の鈴木様

設営いただいた烏山支部の皆様

そして、参加いただいた会員の皆様

本当にありがとうございました！！

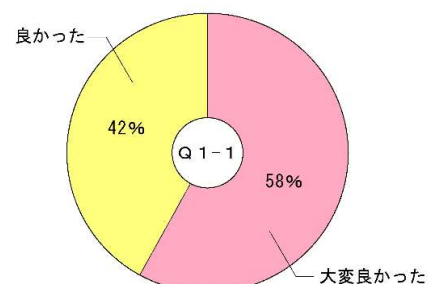
第3回会員大会アンケート結果

Q1 第3回会員大会「烏山大会」に参加して

大会テーマ「伝統と文化」を考える

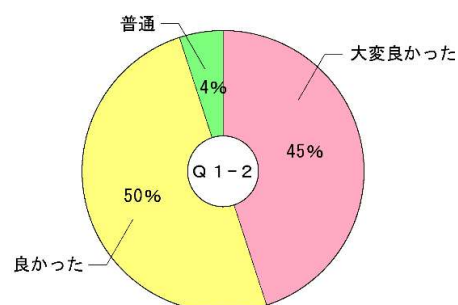
Q1-1 会員大会に参加して（楽しんでいただけましたか？）

1.大変良かった	14 人
2.良かった	10 人
3.普通	0 人
4.あまり良くなかった	0 人
5.良くなかった	0 人



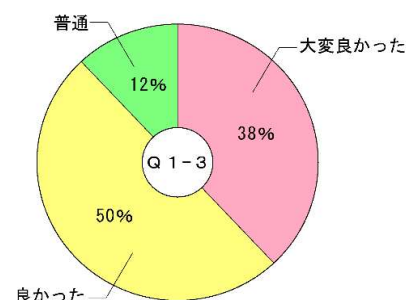
Q1-2 講演会はどうでしたか？（内容、テーマなど）

1.大変良かった	11 人
2.良かった	12 人
3.普通	1 人
4.あまり良くなかった	0 人
5.良くなかった	0 人



Q1-3 建築探訪はどうでしたか？（烏山城旧跡と街あるき）

1.大変良かった	9 人
2.良かった	12 人
3.普通	3 人
4.あまり良くなかった	0 人
5.良くなかった	0 人



■烏山城(旧跡)を歩いて印象に残ったこと及びその理由

- ・近いところに立派な城跡があったので感動しました。
- ・もう少し復元できればと思う。私有地で調査、復元できないところが残念。
- ・市役所生涯学習課鈴木氏の解説により山城の仕組み、役割が理解できた。
- ・山城の構成の複雑さと技術力の高さを感じられた。
- ・地域の歴史に触れられた。史実とフィクションの差を教えられた。
- ・石積などの配置とその意味が解説により良くわかりました。
- ・堀切や土塁など縄張り図を見比べながらの見学により山城を体感できた。
- ・烏山城についてはほとんど知らなかった。もっと有名になってほしいと思います。
- ・自分で行っても何もわからないが、解説が細かくわかりやすく勉強になった。
- ・山城の奥深さを感じられた。
- ・思った以上に大きな城。昔の人の知恵を歩き、解説を聞いて実感しました。
- ・解説が分かりやすく山城の特徴を知ることができた。
- ・想像する事で過去の栄華を感じられた。
- ・解説の有無でかなり印象が違ってくると思います。とても楽しかったです。
- ・当初、城？と思ったけど造りが城だった。
- ・城の構成がよくわかりました。ご説明頂き有難うございました。
- ・烏山城の古さが立派な城でした。
- ・石垣の積み上げなど、山の上に城を築くのは大変だったことでしょう。

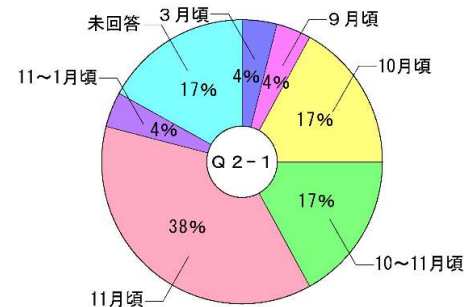
70代 男性
60代 男性
60代 男性
60代 男性
60代 男性
50代 男性
50代 男性
50代 男性
50代 男性
50代 男性
50代 男性
50代 男性
40代 男性
40代 男性
60代 女性
60代 女性
40代 女性

Q2 第4回会員大会に向けて

大会主催予定 宇都宮支部

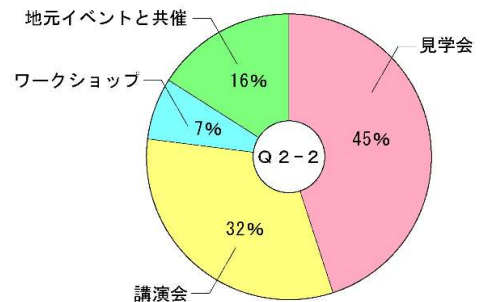
Q2-1 開催時期はいつ頃が適当だと思いますか？

3月頃	1人
9月頃	1人
10月頃	4人
10～11月頃	4人
11月頃	9人
11～1月頃	1人
未回答	4人



Q2-2 プログラムの内容はどのようなものが良いですか？(複数回答)

1.見学会	20人
2.講演会	14人
3.ワークショップ	3人
4.地元イベントとの共催	7人
5.その他	0人



Q2-3 大会テーマ「伝統と文化」を考える でしたが、来年度希望するテーマがありましたらお書きください。

・その街の歴史に関するテーマ	4人
・建築文化	1人
・食と建築	1人
・建物見学	2人
・地域を考える	1人
・開催場所にあわせたテーマ	1人
・未回答	14人

■ご意見 自由記載

・本日は、楽しかったです。有り難う御座いました。	60代 男性
・親睦と普段見られないところを見学できて良かった。	60代 男性
・場所の選定、準備等大変でしょうが楽しいイベントは続けてほしい。	50代 男性
・楽しければ何でもよい。	50代 男性
・調査など現場をやっている人の話は真実味がある。	50代 男性
・今回山あげのアトラクションが見られ良かったです。3000円も安く大満足です。	50代 男性
・他支部の方々と交流出来良かったです。	40代 男性
・山あげ祭り芸能部公演による「戻り橋」を見られた事は良かった。	40代 女性

・記入者	男性 21人	女性 3人	合計 24人
・年齢	30代 0人	50代 12人	70代 2人
	40代 3人	60代 7人	80代 0人

■第 62 回建築士会全国大会報告

第 62 回建築士会全国大会「北海道大会」

〈Re + 明日^{みらい}のまちに輝きを-----〉

令和の最初の大会は北海道函館市にて開催されました。

開催日時：令和元年 9 月 21 日（土曜日）

開催会場：函館アリーナ

参加者：栃木県からは、9 支部 57 名 参加

当日は晴天に恵まれ、北の大地の恵みを存分に味わい、興味深い建築に出会い、今年の全国大会も大変有意義な大会となりました。

恒例になりました、大会会場前での記念撮影です、皆さん楽しそうですね！



■第 62 回建築士会全国大会北海道大会報告

全国大会北海道大会に参加して

鹿沼支部 山 田 征 道

はじめに今回の台風被害に遭われた方々には心より御悔み申し上げると共に一刻も早い復興を御祈り申し上げます。

さて、全国大会の今回は北海道の函館との事で、思い返せば 10 年ほど前に北海道での大会に参加したのが最初だったような・・・

鹿沼支部としての参加は北海道ということもあり、前回程では無いが参加者は総勢 14 名での参加です。

前回は飛行機で羽田から行きましたが、その時も台風と一緒に北海道上陸だったので、朝バスで羽田に着いたものの台風の通過まで 6 時間・・・ま、やる事が無いので何時もの様にお茶？して、梯子して飛ぶ頃には足元ふらふらの泥酔状態の方々が大勢。到着の飛行場も予定と違いましたが、とっても楽しかったことを思い出します。

はじけたなあ・・・マジ楽しかった！

そんなことを胸に、今回は函館、夜景と海産物、ビールに・・・楽しいことばかりの予感、行き方も初の北海道新幹線、さらに向こうについたらレンタカーで移動と、経費と移動を考えての素晴らしいプラン。

流石、鹿沼が誇るツアーコンダクターの A 氏のおかげです。御苦労様でした！

次回も又お願いします！！

新幹線の移動は非常に快適で、飛行機よりも長い移動時間ですがワゴンが通過する度に呼び止める方が多いので売り娘の方が通過するのにかなりの時間が掛かります。

しかし、速いし、景色も見た事が無い風景に見入ってあっという間に青函トンネルに・・・海底に居るのが不思議でしたが、桃鉄（ゲームです）でもピュッと北海道ですから、北海道に入ってからやはり景色が違う事を実感・・・生えてる木が違う！山や畑の様子が違い不思議な感じはしました。

北海道なんだなあ・・・新幹線から在来線に乗り換え。此处で事件が発生！なんと数名が函館とは逆の札幌行きに乗った方が・・・行きたい気持ちは判らないまでも無いが、直ぐ戻ってもらいお昼には合流して、事なきをえました。

函館の昼は、駅前の市場で海鮮丼！ウマウマでした！当然 2 名ほどレンタカーの運転手が必要なので我慢の 2 名以外で乾杯！

■第 62 回建築士会全国大会北海道大会報告

御腹いっぱい、函館とくれば五稜郭へ。タワーに登り上空から見下ろすと何となく雪印マーク？

しかし、良く作るし当時の測量技術では・・・恐れ入ります。

下りてから公園となっている園内を散策。ちと寒い。ま、北海道だからね！



そしてメインイベントの会場へ向かう。集合写真を撮り中へ、広い式典会場で表彰者の方々の功績を拝聴して会場から今夜の宿へ

宿は結構大きなホテルで、夕食まで温泉に浸かり（そう温泉なんです！）露天風呂で上空を直ぐ頭の上を飛行機が下りたり飛んだりして、飛行場や競馬場が近く良く見えて、部屋からの眺めも良かったです。

夕食も流石北海道の海鮮づくしでしたが、昼間市場でカニ屋さんから仕入れた情報で、今夜の繁華街ツアーの情報を仕入れていたので迷わずタクシーで移動し夜の街に・・・

無事朝を向かえ、散歩しながら近所を散策、各家の様子を見ると必ずと言って良い程屋根に煙突がありボイラーが有るのがわかります。

海の傍だから風も強いのか蝦夷松の防風林が有り、かなり曲がっていましたが、どうやら北海道で最初の防風林と書いて有りました。

今日のメインは観光と旨い物！朝から駒ヶ岳を見渡せる大沼公園へ向かい大自然を満喫し、途中蔦屋函館店（アズサ設計）を見学、新しい蔦屋スタイルとしてパン屋やカフェも併設、斬新です！

そしてレンガ倉庫を散策し土産物を買ったりして昼に備える。



■第 62 回建築士会全国大会北海道大会報告

朝食をとったのにも係わらず昼はジンギスカン！とビール！ ガッツリ食べてその足で函館山へ。

皆さんご存知のチャーミーグリーンの坂を見て、ロープウェーを使わずに車で上に。行けるんですよ！奥様！

夜景では無いのですが、かつて稜線？が良く見えてくびれ具合もハッキリ判って良かったです！栃木支部の方々とも遭遇しました！



その後は二手に分かれて移動、私達一向はトラピスト修道院へ向かい、修道院へ。

実は私、修道院ってどんな所か知らなかったので大変勉強になりました。シスターって大変なんですね、お祈りの時間が沢山あるので驚きました。

御土産のクッキーを買って今夜の宿へ。 駅前のビジホでしたが駅が近いので繁華街も近い！ 流石です。

夕食は居酒屋で地元の旨い物を食らう。 是がまた凄いのナンノって！特に先ず口にしたが事が無かったもので、タラの刺身とホッケの刺身！！奥さん！ ホッケって干物以外も有るんですよ！

更にタラってタラコの親だし、刺身って？と驚きの連続です！

ホッケは意外と淡泊で歯ごたえが有るんです。 タラは柔らかくて甘みがあって結構好きかなと感じました。 日本酒にはぴったりのつまみばかりです。

そう言えば、奥さん！ホッケの干物って頭が無いのご存知ですよ！ 近海ものではなく、遠洋で採ったのを直ぐに加工して内臓と頭を取って開きにしたもの、だからですって！ だから頭があったりするホッケは新鮮な近海ものって証拠なの！

そして又、夜の街に・・・ 探さないでください。

北海道最後一日になり、目覚めると外は土砂降の雨、コンビニに傘を買いに行かずぶ濡れ、台風の影響です！

帰るのは午後の新幹線なので予定を変えて、一部の人をレンガ倉庫へ送り、残りは初日に情報をくれたカニ屋へ向かい御土産購入。

此処はバスのパーキングの目の前で立地はバッチリで商売的には優れていますが、人柄が巢晴らし！

商品に拘りがあり、他と比べてもらうと判ると納得の商品しか扱わない店主で、常連には力士の貴景勝の部屋に商品を送っている処なんです！

沢山購入してもらい満足の店主と私達一同。 やっぱり毛ガニです！

■第 62 回建築士会全国大会北海道大会報告

そうして、最後に名残惜しくも、近くの食堂、茶夢（チャム）で最後の昼飯と一杯！

此処は当たりでした！ 味とボリュームは完璧！

是非又来たいところ決定です！（写真は有りません）

帰りは新幹線でぐっすりとシートを倒して熟睡！ あっという間に仙台、乗換えで宇都宮、そして在来線で鹿沼へ・・・

宇都宮に着いたら暖かくて驚きました！ しかし、良い旅でした。
あ、沢山建築を学んできましたよ。
美味しかったです！

次回は 10 年後に行けるのかな？ 今から楽しみです。



編集後記

2020 年 TAB 新年号の発行を予定しておりましたが、コロナウィルス対策に迫られ、発行できるまでに至りませんでした。

本当に申し訳ございませんでした。

113 号については会員委員会で協議され、時期を逸してしまいましたので、発刊せず、WEB にて皆様にご覧いただけるよう、ホームページに掲載いたしました。

これに懲りず、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

一同